

令和 5 年度 校内研修

教材・教具レポート集



北海道帯広盲学校

- 目 次 -

1 自立活動教材

2 形と場所を見分けよう

3 ジオボード・眼球運動トレ

4 KAPLA

5 音楽教材

6 誰と下校する！？写真にタッチ！

7 アートボックスを作ろう

8 歯磨き教材

9 算数教材

10 理科中 3

11-1 SADAKO TV

11-2 体育道具

12 外国語教材

13 課題教材

14 三色エプロン

15 ふくろ

16 国語教材

レポート執筆者一覧

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
① 眼と手の協応動作教材・② 補助ハンガー・③ モンテッソーリ教具	自立活動・日常生活		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい			
① 眼と手の協応動作・眼球運動 ② 一人で上着をしっかりとハンガーにかけられるようになる ③ 手指機能の向上・色の弁別			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

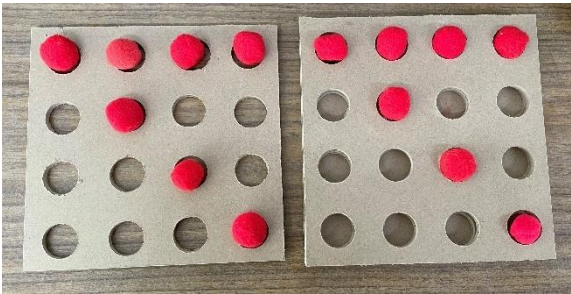
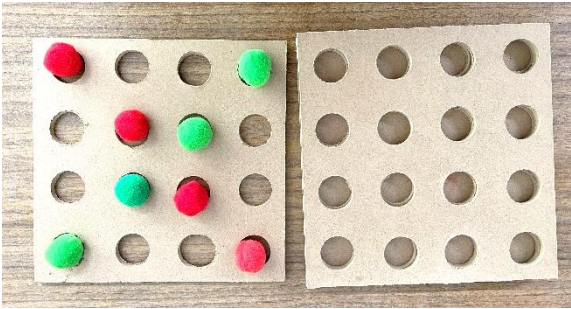
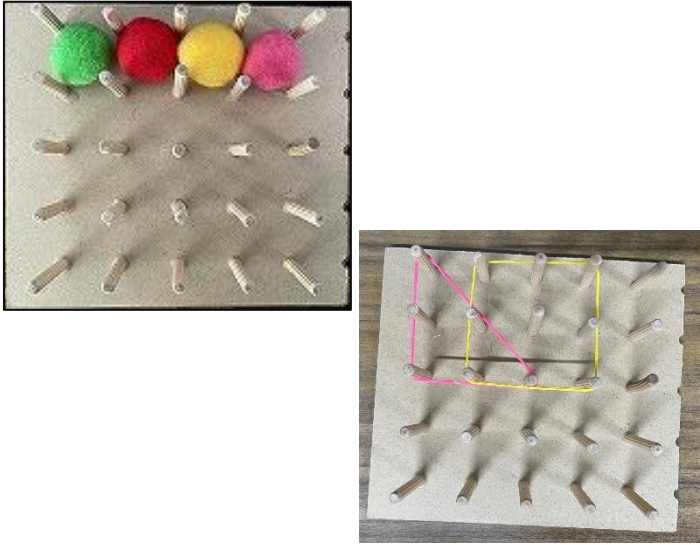
■教材の課題点・失敗したところ

① 眼と手の協応動作教材 	② 補助ハンガー 	③ モンテッソーリ教具 
○ゲーム感覚で楽しみながら眼と手の協応動作を引き出すことができる。 ○上から下へ、左右への眼球運動を促すことができる。 ■つまみ部分の強度を増すと良い。	○幼児の上着の丈感に合わせたサイジング。 ○透明であることにより、カードの支援を外した後に繋がりがやすくした。	○手指の巧緻性の段階に応じて使用することができる。 ○シュガートングを使用することにより、箸への移行期に適した教材である。 ■りんごが立体的で筒との繋がりがスムーズだとより良い。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
場所と形をみわけよう			
児童生徒の見え方 文字の構成や空間把握が苦手なお子さんに 教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい 空間把握が苦手で、点つなぎの学習などに取り組もうとしているお子さんに向けた導入として。 協調運動が苦手で鉛筆を使ってねらったところに線を引くことに苦手さはあるけど、位置関係の学習はおこないたいという方へ。			

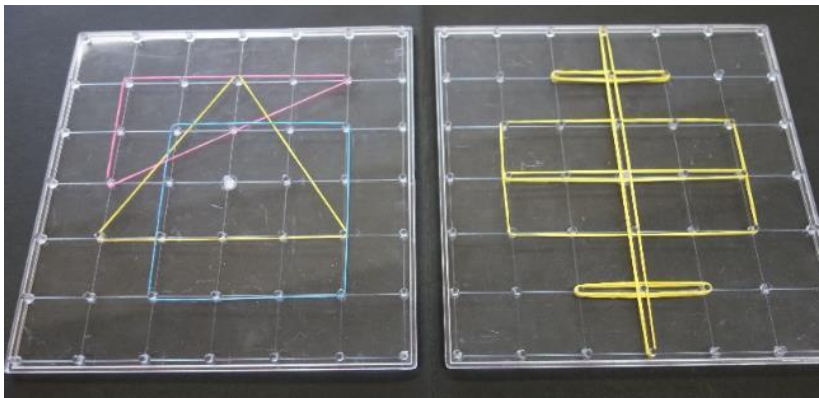
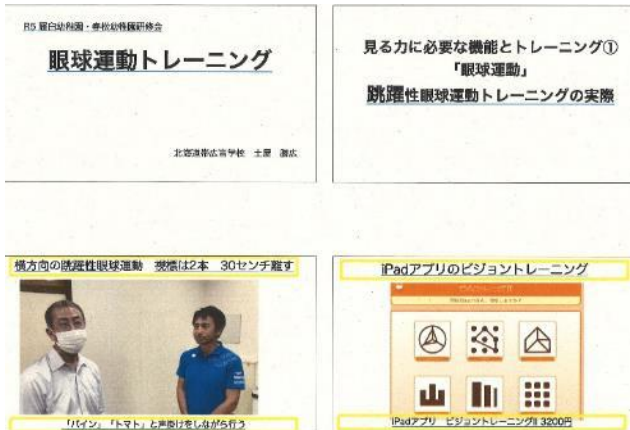
○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

 	
○4×4にして、縦横斜めの捉えができるようにしたこと。 ○ポンポンが簡単に抜け落ちないよう、板を重ねて操作性を良くした。 ○見本と操作盤を上下、左右のどこにでも置くことができるよう、コンパクトサイズにした。 ■全面茶色いので、視力の低いお子さんだと穴の位置が見た感じでわかりにくいのではないか。	○高さのある棒を使っていることで、ポンポンを2つ重ねて置くことができるようにした。 ■輪ゴムをかけるには棒の感覚が狭すぎた。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
ジオボードを使った漢字練習・眼球運動トレーニング	教育相談 地域支援		

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

ジオボードを使った漢字練習 	眼球運動トレーニングのプレゼンテーション 
○視覚認知・書字・読字を主訴とした教育相談で使用した。 ○フロスティグドリルや WAVES の Knock Knock ドリルの「点つなぎ」などをペーパーで取り組んでいて、つまづきから次のステップに進めないケースの場合に、このジオボードの取り組みを間に挟むと効果を発揮し、ペーパーに戻った時に、つまづきが改善された。 ○形の認識が困難なケース、重なり合う形の認識が困難なケースや漢字にも応用できる。形ごと漢字の一画ごとにゴムの色分けをするなど工夫して使える。 ▼改善点→ゴムがひっかける棒が低く、ゴムをひっかけるのに苦勞する点	○教育相談ケースで、教科書の音読時に読み飛ばしてしまったり、違う行に飛んでしまうようなケースがある。 そのような場合、眼球運動に問題がある場合が多い。そこで、このプレゼンテーションでは、ものを目で追う動きである「1. 追従性眼球運動」、視線をジャンプさせる「2. 跳躍性眼球運動」、両目を寄せたり離したりする動きである「3. 両眼のチームワーク」について、矢野先生をモデルに、そのトレーニング方法を動画でわかりやすく解説した。 ○保護者や支援者にとってわかりやすいものを目指して作成した。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
KAPLA（積み木）	幼稚部教室		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい			
・「集中力」 バランスよく積むために手先や目線に集中する力を育てる。 ・「想像力」 何を作るか、どう積み上げるか考える力を育てる。 ・「コミュニケーション能力」 誰かと一緒に作ることで協力したり、作った物で話を膨らませて遊んだりする力を育てる。			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

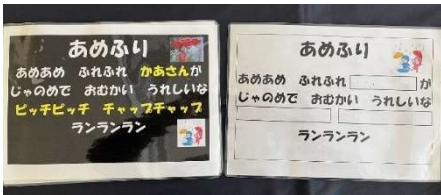
 動物のおうち (幼児と共作)  倒さないように 高く積む。 倒しても 楽しい。  列車の上に 動物フィギュアを 乗せました。		
【工夫】 ・ 幼児が「簡単だ」「自分でも作れる」と思えるものから作った。（写真で言うと動物のおうち平面バージョン） ・ 他の玩具と合わせて遊ぶことで、さらなる発想力UPにつながる。（動物園ごっこをしました。） ・ あえて不安定なものを作ってドキドキ感を作り、集中力UPを狙った。 ・ 崩れてしまってもまた簡単に作り直せることを伝え、失敗への抵抗感をなくし、遊びの継続を狙った。	【よかった点】 ・ とても軽いため、高く積んで倒れてぶつかってしまっても痛くないため、安全性が高いと言える。 ・ 同じ形の積み木なので、創造次第でいろいろなものが作れる。	【課題点】 ・ 同じブロックだけなので、自由度が低く退屈に感じることがある。 ・ 作るものによって難易度が上下する。 ・ 立体で作るのが少し難しい。 ・ 子供が一人で作るのが難しい場合がある。 ・ 生木なので劣化しやすい。そして高価。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
音楽で扱った教材教具	音楽		
児童生徒の見える方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい A：音楽づくり補助教材・・・思考力・発想力・主体的な取り組み。 B：身体表現教材・・・基礎技能、表現力、感性、感覚保持。			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

A 音楽づくり補助教材・

		
ことばを使ったリズム学習をしました。イラストや文字の大きさを考え、見やすくすることで取り組みやすくなります。	擬声音や固有名詞を入れてオリジナル曲を作りました。選ぶことの楽しさ、完成作品への意欲など一人ひとりの持ち味が出た学習でした。	ドレミの歌で各音に合わせる学習をしました。音から即時反応をする動きや模倣力など継続した取り組みで早く動けるようになりました。
		
指揮棒を使った拍子をとる学習をしました。 指揮棒を知らなかった児童生徒。オーケストラや吹奏楽で使用している事を知る良い経験や体験だったと思います。持ち手は軽くスポンジにしています。	日本音階の学習をしました。 ミ・ファ・ラ・シから好きな順番で楽譜上に並べて自分だけのオリジナル曲を作成しました。ミとラの伴奏に自分の作った音を組み合わせることで、より日本音階の曲らしく感じることができました。	

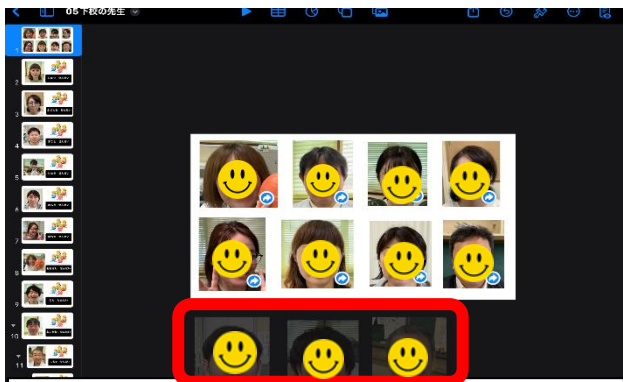
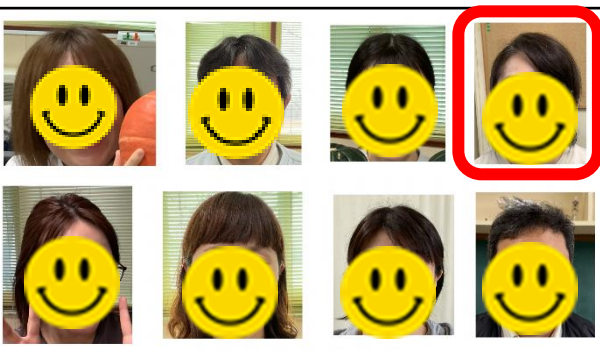
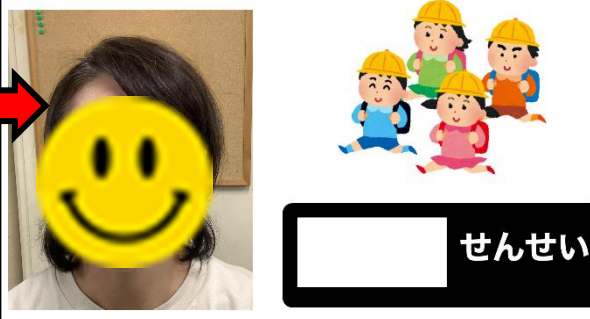
B：身体表現教材

		
ジュースをテーマとしたダンスをしました。両手で持つ、片手で持つこと課題をクリアするまでは少し時間がかかりましたが、手指の力の向上を高めながらダンスをすることができるようになりました。	キッチンミュージックを学習したときに使った、フライパンや鍋です。金属音ってどんな音？慣らす場所によって違いを感じたり、普段料理する道具を楽器にする斬新な使い方を楽しみながら、取り組むことができました。	運動会で使用したポンポンです。色合い、素材、重さなど、児童の実態にぴったりの教材です。手で握ったり持ったりすることが難しい児童に関しては、手首につけられるようにゴムがついています。
		
クリスマス単元で使用した、仮装グッズです。めがね好きな児童生徒、かぶり物が好きな児童生徒様々でしたが、楽しく活動に参加することができました。	造花でも、鈴をつけるだけ学期に返変身します。重いものを持つことが苦手、手指機能が弱い実態の児童生徒でも簡単に持つことができる簡易楽器です。季節にあった造花をするだけで、1年中活躍できる優れものです。	学習発表会で使用した棒状ポンポンです。棒の部分は、ラップの芯で太さは様々です。単純に振るだけでぽんぽんが動くので手首のスナップだけで楽しめる教材です。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
誰と下校する！？写真にタッチ！（iPad アプリ「KeyNote」）	学校生活（午後）		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい ・いろいろな人と関わりをもてるようにする。 ・選んだ人の場所に行けるようにする。 ・教員の名前を覚える、または言えるようにする。			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

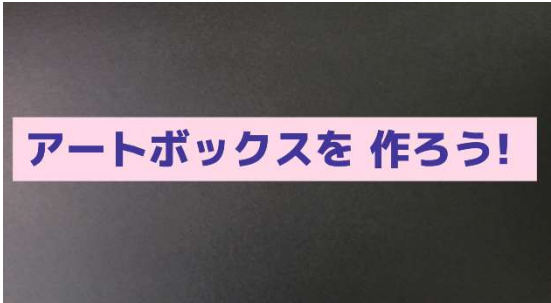
 編集画面で教員の写真の選択ができます。黒い部分に教員の顔を移動させると、スライドショーに顔が出てこないの、選択肢から外れます。	 スライドショーで児童に提示します。写真をタッチすると、右の写真のように拡大して写真が出てきます。	 写真と先生の名前が出るスライドで、児童に「○○先生」と名前を言う練習を行っています。
【工夫したところ】 ・教員の写真をタッチしたときに、その先生の画像のアップと名前が出るように設定したこと。 →児童に名前を言うように練習できた。	【見どころ】 ・すぐに編集ができる。 (授業等で下校時間に空いていない教員の写真をスライドから除くことが容易である。)	【○良かった点 ■課題点】 ○写真の配置や画像の大きさ等を調節しながら活用したことで、児童の見え方の把握ができた。 ○いろいろな教員との関わりをもつことができた。 ■児童の教員選択に偏りが見られることがあるので、もっと幅広く準備ができればよかった。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
「アートボックスを作ろう」	図画工作		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい：学習への見通し			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ

		
○今までは、YouTube の動画を加工したものを取り入れる際、コントラストや制作方法の小さな違いをそのままにしていたが、自作したため、対象物をシンプルにしたり、色のコントラストを強くしたり、実態に応じた動画を制作することができた。	○アプリ「CapCut」で動画編集をした。 黒字に白文字のテキストをすぐに入れることができて見やすさに配慮することができた。	■まだ制作方法に慣れていないため、完成までに時間がかかることが課題。また、制作の動画は導入でのみ使用することを意識し、実際に一緒に制作することを大切にしていきたいと考える。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
歯みがき教材	歯みがき指導		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい			
・口腔内の歯列をイメージして、全部の歯を磨く意識を持たせる。			
・ホワイトボード用のインクをハブラシでこすり取ることから、歯の表面から汚れを落とすイメージを持たせる。			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ



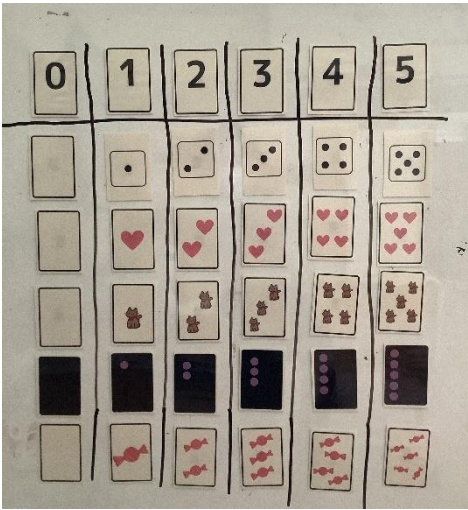
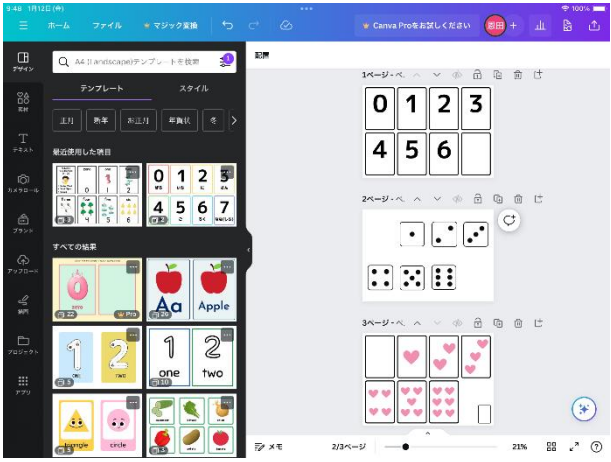
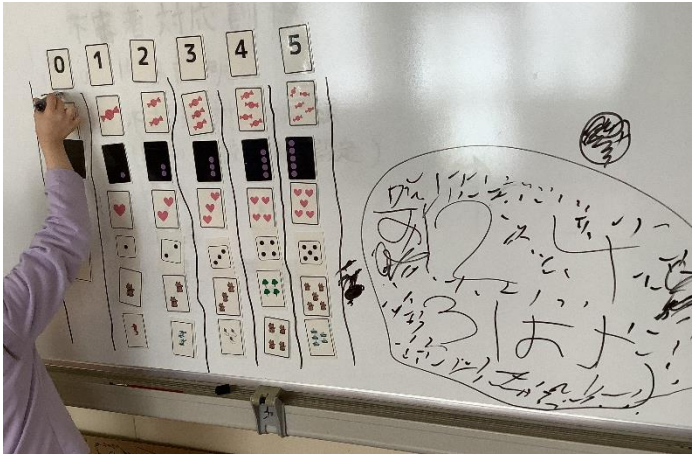
- 色違いを二つ用意したので、寸劇にも活用することができる。
- 教材に興味を持てた場合は、マーカーでつけた汚れをハブラシでこすり取ることができる
- 平面なので、歯みがきの手技の獲得には向かない

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
数字カードと絵カード	算数		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい 5までのものの集まりや数詞と対応して数字が分かる。0の意味が分かる。			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ

		
○「お宝カード探し」と題し、遊びの中で学べるよう設定した。教室に隠された絵カードを探し出し、ホワイトボード上の数字カードに対応させて貼る活動を行った。カードの種類毎に隠し、繰り返しゲームを行うようにした。発見したらその都度カード中の絵の個数を言わせてから、貼るようにした。	○絵カードは、サイコロの目の配列を手がかりに、数の集合をわかりやすくした。カードは絵や配置を変えて種類作成することで、形や色、位置が変わっても数が同じであることに気づかせるようにした。（絵カードは「Canva」を使って作成しました。数種類のテンプレートが選択でき、好みのイラストや配置の微調整など行うことができ、便利です）	■「4」と「5」は一目で見て答えられる場合と、目の数を指差して数えることで答えられる場合がみられた。カードのみならず実際のものやブロックを使うなど別途、操作活動を取り入れていくことが課題。本児がねらいにそって、興味を持って活動に取り組めるよう、教材をどのように提示していくか検討していく。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
水圧感知器	理科		
児童生徒の見える方 ※現在は準ずる生とはいないので、扱っていない。			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい ・水圧による凹みを体感する。 ・自分で上下左右など動かして、全方向で水圧がかかっていることを体感する。			

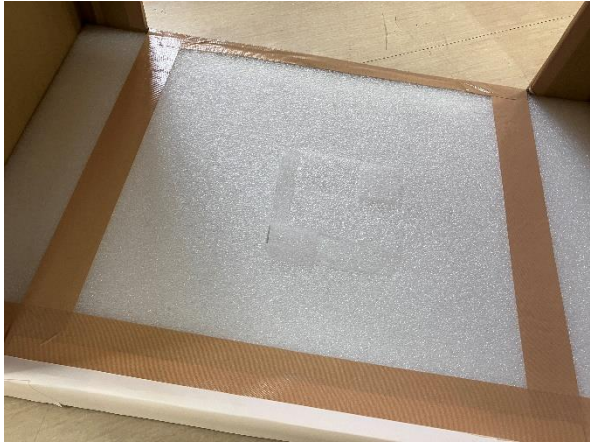
○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

・中3の「水中ではたらく力」の単元	○身近な材料で簡単に作成できる。	○全方向に自分で動かせる。 ○深さも変えられる。 ○凹み具合に触れることで水圧の大きさが体感できる ■一方向だけだと、同じ深さでは同じ水圧になるなど、分かりづらい。
	 	

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
SADAKOTV	生活		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい 本児の好きな映画のキャラクターを使ったごっこ遊びをととして、何かを表現する力を育てる。学校の学習に興味を持つ前段階としての指導。教師との関係作り。			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ



○強度のある、丁度良い大きさの箱を見つけた。中に入ったときに膝が痛くないようにウレタンマットを敷いた。

○本児の好きな色塗りができるように土台の色を薄いピンクにした。文字もきりぬきにして色を塗りたくなるようにした。

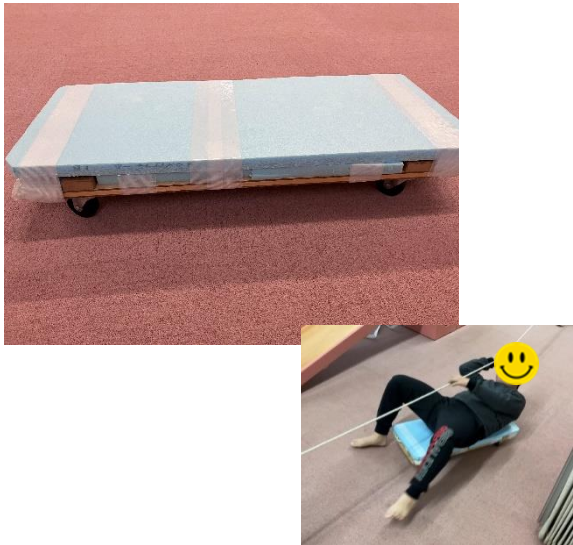
■

■

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
①移動ボード ②スポーツ育脳マット ③カラチャレ	体育		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい			
①力強い動きを育てる ②他の人と協力したり競い合ったりして運動を楽しむ気持ちを育てる ③体作りに必要な様々な動きを身につける			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

		
○間船先生の理科の道具を貸していただいて、座ったり寝たりしても痛くないように加工した。 ○市販の物を次年度購入する。	○子どもたちの発達段階に合っているゲームである。いつもは集団の中に入ることが難しい子ども積極的に参加していた。	○体作りに必要な様々な動きを取りこぼすことなく行うことができる。課題をクリアしたらシールを貼ることで達成感を得ることができる。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
「What's this?」 bag	外国語活動		
児童生徒の見える方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい 興味・関心を持って外国語に親しむ。五感を活用して学習に取り組む。			

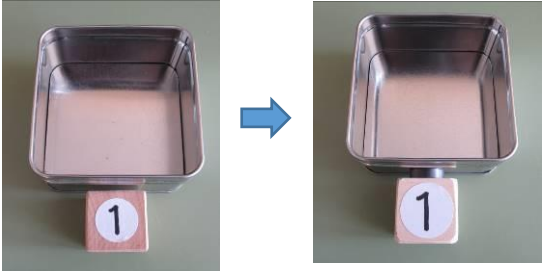
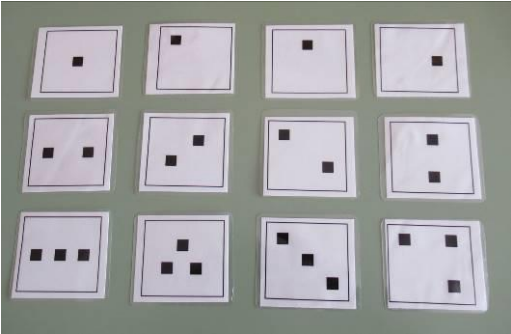
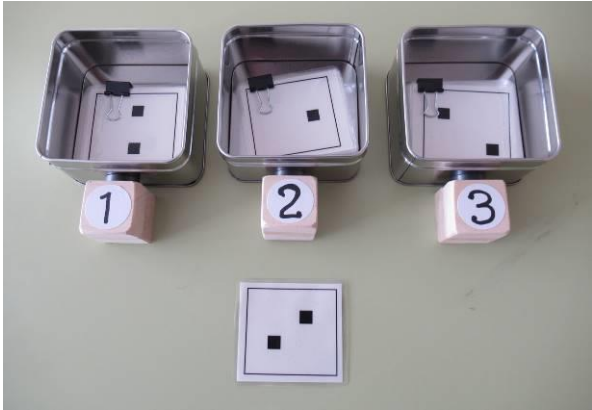
○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

		 
○児童生徒の興味・関心のある物を袋に入れて、中身は何かを触って考えることができた。 ○多種多様な物を袋に入れて、何が入っているか触れて考えることができる。 ■無地の袋の方が集中して中身は何か考えることができたのではないかな。 ■大きな袋の方がより様々な物に触れて考えることができたのではないかな。		

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
はっと みて わけよう	課題		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい			
・ドットカードを見て、かたまりとして数（量）をとらえる力を高める。			
・ドットの色や形、並び方が違っていても同じ数であることを理解できるようにする。			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

		
■積み木のみ使用したため、並べたり積んだりして遊ぶことがあり、失敗であった。また、数字が小さめであった。 ○缶と積み木をマグネットで付けて一体化した。そうすることで、いじらなくなった。また、数字は一回り大きめに変えた。 ※『国語・算数基礎から学べる学習課題 100』の教材本を参考にし、活用した。 	○ドット（抽象柄）で、いろいろな並び方の数のカードを作成した。いろいろなパターンで取り組めたので良かった。 ※今後の発展には、色や形を変えたものを作成し、活用していきたい。	○カードを見て、判断して、缶に入れることができたので良い教材に仕上がった。 ※既に、4・5のものも作成している。また、数の積み木と缶をマグネットでつなげているので、数の順番を変えることもできる。今後の学習に活かしていきたい。 

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
三色エプロン	給食指導		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい 三色食品群の理解と意識に繋げたい。			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

三色食品群の指導がもっと手軽に・シンプルに・日常的に行えるようにと作成した教材である。

食材カードをいれた状態で教室を回るのも良し、食材カードを子どもたちに仕分けてもらうのも良し。さまざまなパターンの指導が可能であると考える。



- どんな食材が入っているかよく見えるよう、ポケットを透明にした点
- エプロンの生地の色を、ポケットに入れた食材が映えるように、水色を選択した点。水色は、食材にはなかなか無い色であるため。
- 緑色（からだの調子を整えるもになる）に入る食材数が増えることが予想されるため、スペースの配分を調整する必要があった。
- 糸が目立たないよう、ポケットの縁の色と合わせればもっとよかった。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
「ふくろ」	自立活動		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい 手指の巧緻性、見て弁別			

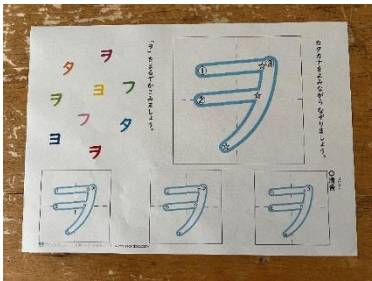
○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

		
○「ふくろ」と言って、意欲的に取り組んでいる。	○しっかりしめることができたときの感触が分かりやすい。	○現在は取り組んでいないが、種類や色の指定をすることができる。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
①ひらがな、カタカナプリント、砂文字板 ②ごじゅーおん	国語		
児童生徒の見え方			
教材・教具を通して育てたい力及び教材・教具のねらい			
①運筆の向上、似ている形のひらがなを見分ける ②ひらがな・単語の理解力向上、			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

 ひらがな カタカナ プリント  砂文字	 絵カード・文字カード	 ごじゅーおん
○筆を運ぶ練習をしながら、濁音、半濁音などを確認することができた。 ○指でなぞりながら形と音を確認し、間違えることが少しずつ減っていった。	○文字から絵カードを、絵カードから文字を選ぶ取るのをそれぞれ行う。 ○選び取ったあとには必ず自身の体のどこを表すのかを確認することで、少しずつマッチングがとれてきた。	○写真などをみて順番に打ち込み、最後に音声で確認することができる。 ■濁音や拗音の入力もできるが、操作が複雑になってしまったため、操作が困難？